研究開発提案書別紙

1．基本情報

研究開発課題名	○○○研究

研究開発代表者　氏名	栄目戸　太郎
研究開発代表者　所属機関名・部署・役職	学校法人大手町大学・大学院医学研究科・教授

2. コンセプトと全体構想（グランドデザイン）

（1）コンセプトについて
・○○○○○○○○○○・・・ ・○○○○○○○○○○・・・ ・○○○○○○○○○○・・・
（2）全体構想（グランドデザイン）について

コメントの追加 [A1]: 本研究で構築されるプラットフォームおよび AI システムのコンセプトについて箇条書きで明確に記載してください。

コメントの追加 [A2]: 全体構想（グランドデザイン）について、概要図を用いて明確に図示してください（特に本研究により、当該領域の研究や医療に何がもたらされるのかについて、わかるように記載してください）。

3. ロードマップについて

○○○○○○○○○○○・・・

コメントの追加 [A3]: 情報の受付、他の研究の二次活用、事業化への移行、臨床現場への還元等の時期をふくむ研究全体のロードマップ（**5 年間**）について、概要図等を用いて記載してください。
最終的ゴール達成に向けて合理的マイルストンを設定し、各マイルストンがその時までに実現可能である根拠を簡潔に記載してください。

4. 研究体制について

（1）ELSI 担当者　氏名	栄目戸　太郎
所属機関名・部署・役職	学校法人大手町大学・大学院医学研究科・教授
（2）医療情報学専門家　氏名	大手町　次郎
所属機関名・部署・役職	学校法人大手町大学・大学院医学研究科・教授
（3）AI 専門家　氏名	八重洲　三郎
所属機関名・部署・役職	学校法人大手町大学・大学院医学研究科・教授

5. 情報提供元への対応について

（1）情報提供元へのインセンティブの確保について
○○○○○○○○○○○・・・
（2）提供された情報に関する知財等の取扱いについて
○○○○○○○○○○○・・・
（3）情報提供元への支援について
○○○○○○○○○○○・・・

コメントの追加 [A4]: プラットフォームへの情報提供元への想定しているインセンティブについて記載してください。情報提供元（例：研究班、臨床現場、患者等）で異なる場合は、個別に記載してください。

コメントの追加 [A5]: 提供される情報に関する知財等の取扱いに関して、想定している対応を記載してください。

コメントの追加 [A6]: 情報提供元への技術的･人的支援について、想定している内容を記載してください。

6. プラットフォームの 2 次活用について

2 次活用における規定について
○○○○○○○○○○○・・・

コメントの追加 [A7]: プラットフォーム（構築する予定がある場合は生体試料バンクも含む）の 2 次活用に関する規定について、想定している概要を記載してください。提供先（例：研究班、企業等）で異なる場合は、個別に記載してください。

7. AI システム開発について

（1）AI システム開発で対象とする情報について
○○○○○○○○○○○・・・

コメントの追加 [A8]: AI システム開発において、どのような目的でどのような情報を対象とするのか具体的に記載してください。

（2）AI システムの検証法について
○○○○○○○○○○○・・・

コメントの追加 [A9]: AI システムにより導き出された結果を検証する方法について具体的に記載してください。

（３）AI を活用する目的と AI システムの開発がもたらす効果

○○○○○○○○○○○・・・

コメントの追加 [A10]: AI を活用する目的と、開発したシステムが希少難治性疾患・未診断疾患領域にどのような効果をもたらすのかについて、具体的な成果目標を含めて記載してください。

8. ELSI について

○○○○○○○○○○○・・・

コメントの追加 [A11]: プラットフォームの構築および運営、ＡＩシステムの開発における倫理的問題点とその対応について記載してください。

9. 国際連携ついて

○○○○○○○○○○○・・・

コメントの追加 [A12]: IRDiRC 等の希少難治性疾患に関する国外の活動との連携方法について記載してください。

10. 患者および臨床現場との連携について

（1）患者自身のプラットフォームへの登録について
○○○○○○○○○○○・・・

（2）臨床現場への支援について
○○○○○○○○○○○・・・

コメントの追加 [A13]: 患者自身がプラットフォームへ登録可能な体制について、想定している内容を記載してください。

コメントの追加 [A14]: プラットフォームの情報を通じて、臨床現場へ診断や治療等の支援が可能な体制について、想定している内容を記載してください。

11. プラットフォームの継続性について

継続性の確保について
○○○○○○○○○○○・・・

コメントの追加 [A15]: 構築するプラットフォーム（構築する予定がある場合は生体試料バンクも含む）について、継続性の確保に関する対応を記載してください（事故・災害発生時のためのバックアップ体制の確保等）。

12. 事業化にむけたプラン

（1）必要な維持･運営費の額（年間）
○○○○○○千円
（2）必要額の算出根拠
○○○○○○○○○○○・・・
（3）維持･運営費の財源
○○○○○○○○○○○・・・

コメントの追加 [A16]: 本公募で構築されるプラットフォーム（構築する予定がある場合は生体試料バンクも含む）は研究終了後に事業化して自主運営することを想定しています。事業化した際の必要な維持･運営費の見積額を記載してください。

コメントの追加 [A17]: （1）の算出根拠を記載してください。

コメントの追加 [A18]: （1）の財源を記載してください。